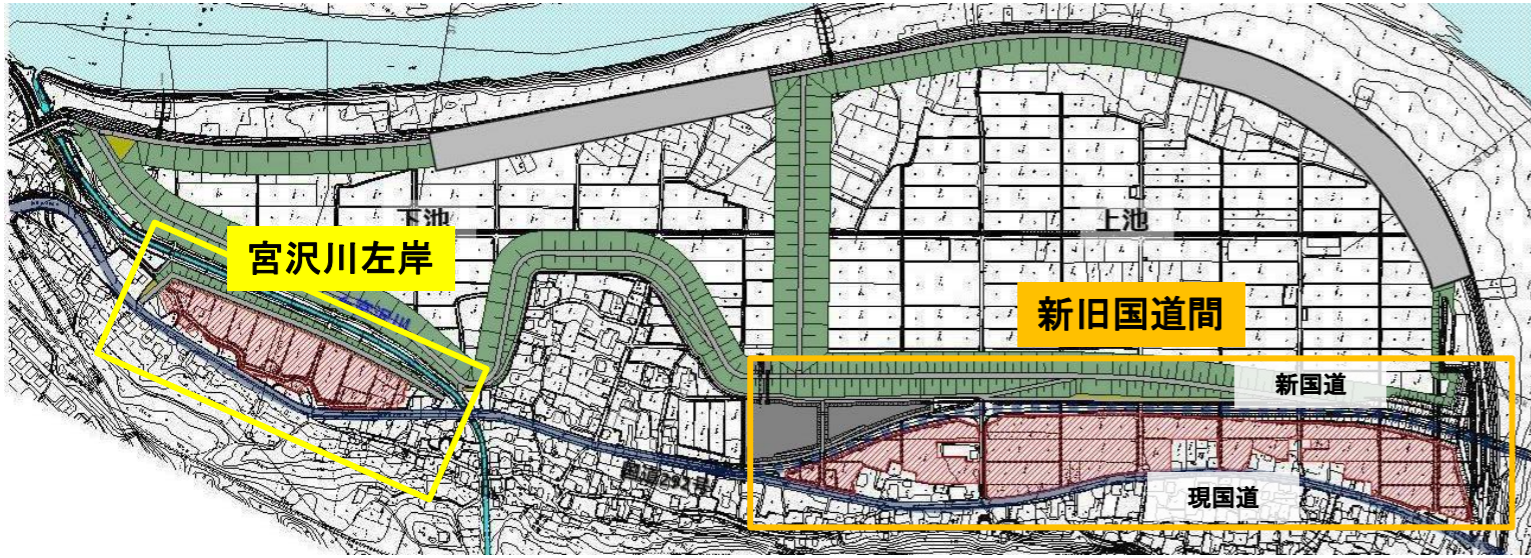


蓮遊水地

だより

令和5年4月の地元説明会でアンケート調査の要望を受け、飯山市が「土地の埋立てに係る意向調査」を、該当する地権者の方々に調査を実施しました。

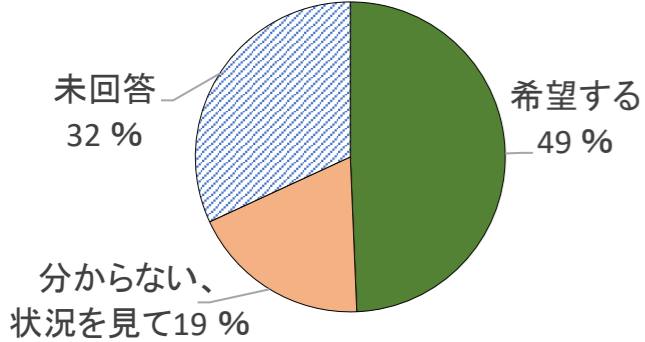


<埋立ての希望>

宮沢川左岸

人数比で44%（7名）、面積比で49%の方が埋め立てを希望。埋立てを希望しない方は0名。

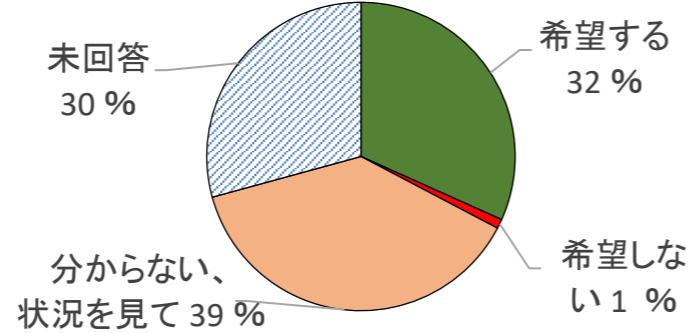
埋立て希望 面積比(%)



新旧国道間

人数比で28%（8名）、面積比で32%の方が埋め立てを希望。埋立てを希望しない方は1名（但し、買収希望）。

埋立て希望 面積比(%)

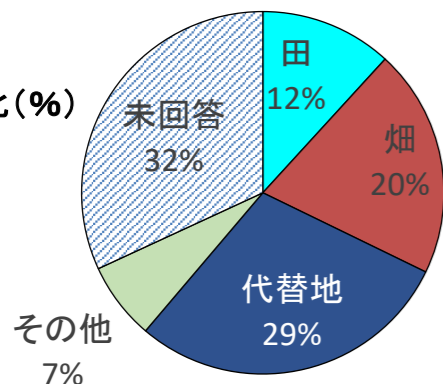


<整備後の土地利用意向>

宮沢川左岸

面積比で29%（0.67ha）の方が代替地として提供を希望、水田としてが12%、畑としてが20%割合でした。

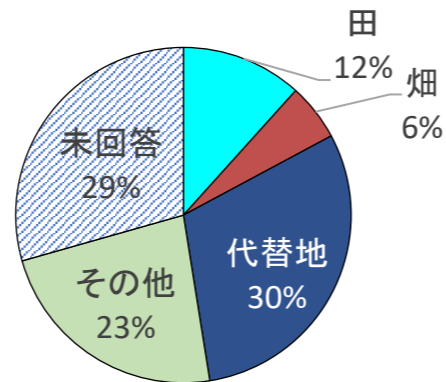
面積比(%)



新旧国道間

面積比で30%（1.6ha）の方が代替地として提供希望、水田利用12%、畑利用6%でした。その他としては、宅地や貸し出したい、などのご回答がありました。

面積比(%)



お問合せ先

- 事業全般に関すること 千曲川緊急治水対策出張所 電話 0269-67-0450
- 用地補償に関すること 千曲川河川事務所 用地第三課 電話 026-227-0480

令和5年12月13日開催 蓮区公共事業対策委員会 での報告内容

令和5年12月号（No.4）発行「蓮遊水地だより」にて、蓮区公共事業対策委員会に出席し、事業進捗状況などを報告した旨、お知らせしたところですが、本号では、8月以降に実施してきました以下のアンケート、聞き取り調査の結果についてご紹介します。

<実施内容>

- ・「蓮遊水地内の利活用への意見集約」（耕作希望者への聞き取り調査）・・・飯山市 実施者
- ・「土地の埋立てに係る意向調査」（アンケート）・・・飯山市
- ・「用地取得に係る個別相談会」・・・国交省

□ どの程度の期間、耕作を行っていききたいか

- 元気なうちは耕作を行っていききたいという意見が大半

- 四ヶ郷用水をはじめとした、集落内の用水路をどうすべきか
- 遊水地内の周辺環境保全(水路管理)はどのように取り組んでいくべきか
- 遊水地内、集落内の環境保全に係る体制・ルールをどのように話し合っていくべきか

<全般に係る意見>

- 各水路のあり方、管理に係り、飯山市と地元との協議が必要

<四ヶ郷用水に関する意見>

- 四ヶ郷用水は大事だが、これまで通りには管理し続けることはできない
- 維持管理の労力と経費負担が重く、減少する耕作者のみではこれまで通りに維持管理することは難しい。
- 現在は農業用水と生活用水の両方が四ヶ郷用水で供給されているため、両用水の経路を明確に分けていく（揚水を堤防沿いに流し山まで上げない）ことで負担も減り管理者も明確になるのではないか。
- 防火用水でもあるので区全体で話をする必要はある。
- 四ヶ郷用水は遺産的性格もあるので、残すことを前提に維持管理や運用方針を模索してはどうか

<中央灌配水路に関する>

- 水路が深く管理が大変なため、浅くても良いのでは

<その他>

- 1号、2号ため池の利用についても検討できないか

□ 遊水地へのアクセス(坂路など)、遊水地内の通路に対して望まれることはあるか

- 現行の通路について幅員が狭いため、軽トラがすれ違える幅員の確保ができないか
- 坂路の位置が気になるので早めに相談したい

□ 遊水地内で耕作が行えた場合の懸念事項

- 遊水地内の非耕作地の維持管理をどうしていくか
- 委託耕作地をどの程度確保できるか
- 遊水地整備中の耕作継続ができるのか
- これまでは農事組合法人はちすから苗の購入、作業の委託をお願いしてきたが、法人が継続するのか（今後、誰に頼めばよいか）

□ 今後の地域づくりを考えていく上での懸念事項

- 過疎化が進み、維持管理以前に集落や集落の組織が継続できるか不安

□ その他、意見・要望

- 遊水地が完成した暁には、記念石碑の建立を検討してはどうか
- 畑から表土を運んでほしい

今回掲載しました調査結果などについては、地元説明会において改めてご報告させていただきます。

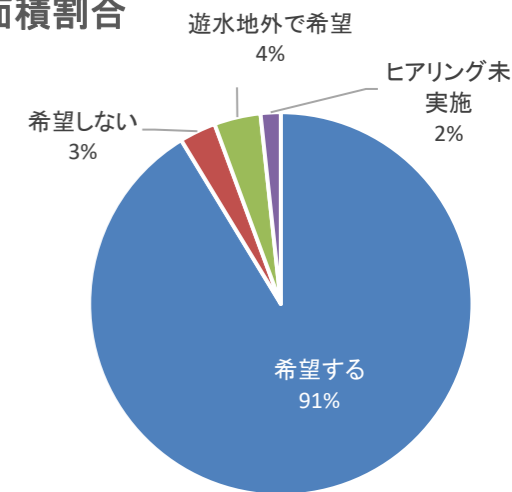
飯山市では、「蓮遊水地内の利活用への意見集約」を目的として、過去のアンケートから推察し、蓮区内で耕作利用を希望されている方々17名1団体にお声がけして、15名1団体にヒアリングを実施しました。
※主なご意見を掲載

- 遊水地内での耕作利用を望まれているか
- どういった耕作利用を行いたいのか
- どの範囲で行いたいのか
- どの程度の面積で耕作を行いたいのか

<水田耕作希望>

- ヒアリングを行った16名（団体含む）のうち水田耕作者は15名（1名は畑のみ）
- 10名（団体含む）の方が遊水地内においても引き続き水田耕作を希望
- 現在耕作されている面積（委託、遊水地外含む）は約24ha
- 遊水地整備後に遊水地内外を問わず耕作を希望される面積は、推計で31～32ha
遊水地外で委託耕作されている面積を除くと、**遊水地内耕作希望面積は、推計で28ha前後**
- 現在遊水地内で耕作を行っている方で、遊水地外に代替地を希望される方が3名、希望面積は0.7ha

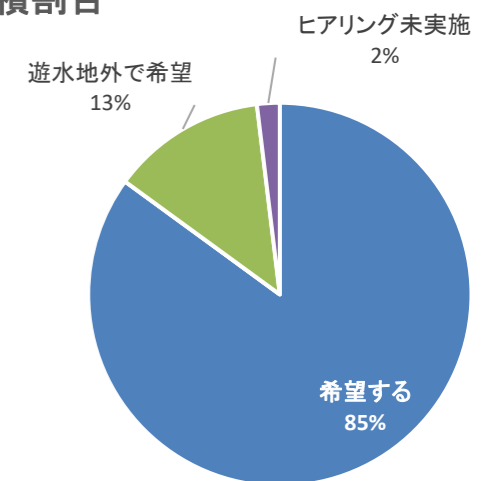
面積割合



<畑耕作希望>

- ヒアリングを行った16名のうち畑耕作者は8名（8名は水田のみ）
- 6名の方が遊水地内においても引き続き畑耕作希望
- ヒアリングを行った個人の方々が現在耕作されている面積（遊水地外含まず）が約2.6ha
- **遊水地整備後に遊水地内で耕作を希望される面積は約2.2ha**
- 遊水地整備後に現在遊水地内で耕作を行っている方で、遊水地外に代替地を希望される方が2名、希望面積は0.05ha

面積割合



<耕作に関する意見>

- 除草、水路管理などする上で、耕作者が減少すると、用排水路の管理が出来ない。集約化すべきでないか
- 耕作地を集約化して、現状より効率的に作業が行えるようにしてほしい
- 水路が老朽化しており、除草作業、泥上げなどに労力がかかる。改修してほしい。

□ どの程度の期間、耕作を行っていききたいか

- 元気なうちは耕作を行っていききたいという意見が大半